

【奈良県クビアカツヤカミキリ早期防除計画策定事業】 【奈良県内全市町村】【奈良県】

事業の背景・目的

- ・奈良県にとってのサクラは、生物多様性の重要な構成要素であるとともに、**奈良の歴史や文化を育み、観光資源としても重要な花木**となっている。
- ・奈良県では、令和元年度に初めてクビアカツヤカミキリの被害が確認され、令和2年度以降、急速に被害が拡大する恐れがあるが、早期発見に向けた体制が構築されているとは言いがたく、**サクラ被害の早期発見に向けた監視体制づくりが急務**である。
- ・特に奈良県吉野町の吉野山には主にヤマザクラが約3万本生育しており、毎年春には多くの観光客が訪れる国内有数のサクラの名所となっているが、比較的近い場所でクビアカツヤカミキリが確認されており、**早急に吉野山への対策が必要**である。

事業の内容・得られた成果

事業①サクラ防除体制整備事業

→**サクラ被害の早期発見、早期駆除に向けた体制整備**

- ・サクラの名所等の抽出、重要監視地点の設定
- ・樹木医による現地調査、現地関係者への技術指導、被害地での防除実習、技術的指導、県庁内担当者リストの作成

成果：重要監視地点16地点のうち3地点において被害を発見、早期防除につながった。

事業②ヤマザクラ等防除手法実証事業

→**重要地域(吉野山のヤマザクラ等)保存に向けた実証試験**

- ・サクラ(ソメイヨシノ)防除の事例収集
- ・吉野山の防除・予防手法の検討、地元関係者への周知
- ・吉野山サクラ類被害確認調査の実施、防除・予防手法の検討、予防手法の試験的实施、現地研修会の開催

成果：監視木の設定、県有地で予防対策実証試験(12本)を実施した。

事業③県民・NPO等普及啓発事業

→**監視の目を県全体に広げ、早期駆除につながるための啓発事業**

- ・防除講習会(県民・NPO、行政等を対象)
- ・確認マニュアルの作成及び配布
- ・「奈良県クビアカツヤカミキリ早期防除計画」の策定

成果：県民のクビアカツヤカミキリ認知度が上がり、早期発見・早期防除につながった。



令和3年度以降の展開

事業①GISを活用した監視体制強化及び早期防除技術の指導

- GISの構築およびGISを活用した被害拡大予測
- 調査および監視技術の指導
- 早期防除技術指導・実習

事業②吉野山における予防対策の検証

- 予防手法の効果検証及び対策の実施

事業③普及啓発の強化による県民運動への展開

- 防除講習会の開催
- 普及啓発用資材作成
- 「さくら見守り隊」発足

